

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立馬込小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・地図を扱う活動や学校生活で地図に触れる機会を増やすことで、地図を読み取る力の定着が見られた。
- ・資料に書き込みをしながら読み取ることを繰り返し指導することで、資料から目的に合った情報を選び取る力が付いてきている。

(2) 課題

- ・資料から読み取れることを書き込むことを指導してきたが、資料から分かる事実から考察する力が不十分である。
- ・考えを共有する活動を多く設定してきたが、自分の考えを表現することに課題が見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（同一集団の経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	・目標値をやや下回っている。		
第5学年	・目標値をやや上回っている。	・目標値をやや上回っている。 (第4学年時)	
第6学年	・目標値をやや上回っている。	・目標値をやや上回っている。 (第5学年時)	・目標値を上回っている。 (第4学年時)

(2) 令和7年度の結果分析（観点別）

・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・四方位や地図の読み取りができています。 ・地図記号の読み取りができています。 ・写真に注目して、市の様子を判断しているが、理由を答える正答率が低い。	・仕事の仕方に関する資料の読み取りができています。 ・市の人口の変化について年表をもとに適切な資料を判断する問題の正答率が低い。	・仕事の工夫や工程の読み取りができています。 ・資料の読み取りに課題が見られる。資料から判断したり表現したりする力が不十分である。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日本の食料生産についての資料を読み取っている。 ・情報の発信と受信の注意点について考えている。	・複数の資料を基に様子を判断できている。 ・日本の農業についての理解を基に、資料を判断している。	・適切な資料を判断したり読み取ったりする問題ができています。 ・資料をもとに判断することに課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・四方位や地図記号を日頃から繰り返し振り返りを行い、定着を図る。 ・理由を説明する際には、語彙を増やす必要がある。知識の定着と共に理由を説明できるようにする。	・資料の読み取り方を丁寧に確認し、どこから何を読み取るのか、資料に書き込みをしながら押さえていくことで、明確に捉えることができるようにする。 ・適切な資料を判断できるように、日頃から見るポイントを指導する。（題名から判断する等）	・地図記号や都道府県は、歌やかるた等を用いて楽しみながら覚えることができるようにする。 ・社会科見学で実際に見学をすることで、意欲付けとなるよう図る。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・教科書の資料だけでなく、教師の意図した資料や資料集の資料などを使って類題に取り組み、自力で読み取る練習を行う。 ・地図の見方の指導（地図記号や方位など複数の知識を関連させて）を中学年から行っていく。	・複数の資料や、資料と社会的事象を関連付けながら考えを構築できるようにする。 ・グループ内での発表やペアでの発表、タブレットによる考えの共有など一人一人が発表する場を多く作る。	・動画資料を活用し、具体的なイメージをもつことができるようにする。 ・社会科見学で実際に見学をすることで、既習事項との関連付けやこれからの学習への意欲付けとなるよう図る。